

講習会・イベント

ボランティア講習会を開催しました

第1回 「子供との良好な関係づくりのコツ講座」

5月20日（木）、「子供との良好な関係づくりのコツ講座」を開催しました。講師の山本豊三先生（山口県教育庁社会教育・文化財課 社会教育主事）は、教諭としての経験も指導者としての経験も豊富な方です。

同課の小野様、五島様にもご協力いただき、熱心なご指導のもと、たくさんの楽しいアクティビティを経験し、学生もついつい夢中になりましたが、その裏側にある意図を知ることにより、より一層理解を深めていました。また、参加者のモチベーションを高めながらも、冷静に参加者の様子を見ておられる先生のお話にくぎ付けとなっていました。

はじめはどことなくぎこちなかった参加者同士の関係も、気が付けば、最後には決めポーズもバッチリ息が合っていました。



第2回 「目からうろこが落ちる！子どもとの関わり方講座」

7月13日（火）、「目からうろこが落ちる！子どもとの関わり方講座」を開催しました。第1回に引き続き、講師に山本豊三先生（山口県教育庁社会教育・文化財課 社会教育主事）をお招きし、同課の池上様にもご協力をいただき学生へ指導くださいました。

前回と同じアクティビティを行う際、前回参加した学生に「説明できる？」と投げかけると、ドキリとしている様子でした。知っていることと人に伝えて動いてもらうことの違いと難しさを感じたようです。

今回は問題を解決するアクティビティを多めに入れていただき、初対面同士のグループでお互いを認め合う試みが多く行われました。グループの中で一人になることへの不安、不安な思いを解消するための声掛け、問題を解決するための意見を述べる勇氣、勇氣をたたえて認めることなど、アクティビティを通してどんどんグループの人間関係が深まってきました。

小学生のための
なつやすみの宿題楽しく学ぼう会を開催しました

8月18日（水）～20日（金）の3日間、桜翔館で「小学生のための なつやすみの宿題楽しく学ぼう会」を開催し、大学生ボランティア18名が小学生のドリルや読書感想文などの宿題のお手伝いをしました。

勉強の合間には、頭のリフレッシュとお楽しみを兼ねたレクリエーションとして、スライム作りや身近な材料を使った聴診器作りなどをしました。

今年で3回目を迎えた宿題勉強会には3日間で延べ108名の小学生が参加し、最後にひとりずつに修了証と記念写真が渡され、無事に終了することができました。小学生にとっては、夏休みの3日間を大学で過ごしたことは、貴重な思い出になったようです。

また、大学生ボランティアにとっては、小学生と接することの楽しさとともに、指導することの難しさを感じ、大学生生活だけでは体験することができない学びの機会となったようです。

～後期の事業、イベントなど～

- 学生スタッフ制度（10月～3月）
 - ・日本語チューター及び生活支援者
 - ・受験生おもてなし
 - ・放置自転車判別のための全自転車への札付け他
- 課外インターンシップ募集（11月～）
 - プレゼンテーション講座
 - YPUドリームアドベンチャープロジェクト2010 成果報告会（1月中旬） など

～詳細は掲示・ホームページをご覧ください～

学生活動支援センターニュース「かえるのうた」



平成22年10月発行 第5号 発行 / 山口県立大学 学生活動支援センター
〒753-8502 山口市桜島3丁目2-1
TEL 083-928-3478（ボランティア窓口直通 083-928-3476）
FAX 083-928-5769 <http://blog.ypu.jp/gakukatsu/>

～新体制となりました！～

学生活動支援センターは、平成22年4月から、社会福祉学科の永本准教授をセンター長にお迎えし、また7月からは新しい職員も1名加わり新体制となりました。

学生活動支援センターでは、学生スタッフ制度やインターンシップ活動、ボランティア活動などの学生の自主活動のサポート、みなさんの夢をかなえるプロジェクト「YPUドリームアドベンチャープロジェクト」の実施などで、みなさんのより豊かなキャンパスライフを応援しています。

学生活動支援センターは本館1階（学生支援部内）です。どうぞお気軽にお立ち寄りください。



学生活動支援センター職員

AED講習会を開催しました

4月2日（金）、新入寮者を対象に、山口市中央消防署のご指導のもと、AED講習会を開催しました。

はじめに、応急手当講習テキストに沿って、救命のリレーにおける早期の救命処置の重要性などを学びました。その後、グループに分かれ、人形を使用してAEDが到着するまでの間の救命処置として、心肺蘇生法を実施しました。最初は助けを求める呼びかけにも、呼びかけに応じることに恥ずかしさを感じていた参加者も、回数を重ねると積極的な姿勢で取り組むことができるようになっていきました。

次に、AED到着後のAEDの使い方や手分けして作業に取り掛かる方法などを学びました。AEDの操作は、参加者が想像するよりもはるかに簡単なものでした。

AEDを使用するタイミングにより社会復帰率が1分ごとに7～10%変化するという説明を受け、使わなくてはならない時が来た場合に躊躇なく使う心構えもできたようでした。

最後に、応急手当の方法もいくつか実践し、入寮して間もない学生たちにとって、お互いの助け合いの大切さを感じる良い機会となりました。



護身術体験型セミナーを開催しました

6月23日（水）、山口県山口警察署のご指導のもと、護身術体験型セミナーを開催しました。

はじめに、山口県の性犯罪についてお話いただきました。携帯電話の操作や音楽を聴きながら帰宅することは非常に危険であることや、自宅の鍵は必ず施錠することなどをお話いただきました。

次に、模範を見せていただきながら、二人一組になり、護身術を実践しました。腕を掴まれた時の返し方や背後から抱きつかれた時の回避方法を教えていただきました。

最後に、さすまたの使い方についてご説明いただきました。最近大学付近でも不審者が目撃されるなどの情報があり、教職員の防犯意識を高めることを狙いとし、今回からセミナーに取り入れしました。さすまたは、振り回すだけでも十分防御の効果があり、わたしたちが使用する際には、まずは「犯人を近づけないようにすること」だそうです。

今回のセミナーには、学生・教職員合わせて31名が参加しました。参加者からは、「実技指導により体験できて良かった」「警察の方に非常に分かりやすく教えていただいた」などの感想が寄せられました。

